

デザイン支援



ハンサム侍

ユニークなブランド名と
地域色豊かな商品で
鹿角の魅力を売り出す



新鮮な生ホルモンを使い、
鹿角のソウルフード
「鹿角ホルモン」を全国に！

インパクトのある名前でラーメン店を運営

平成29年、鹿角市花輪に開店したラーメン店「ハンサム侍®」を運営する館花和明さん。以前から食べ歩きが好きで、当時大学生だった息子に連れられ、県外でいわゆる「二郎系ラーメン」を食べたことをきっかけに、その中毒性を感じ、鹿角にこのジャンルのラーメン店を作って、新しい文化を取入れたいと創業を決意した。館花さんは以前から取り組んでいた石材の輸入卸などの事業の傍ら、初めて飲食業に挑戦。そのユニークな店名は、常にハンサムな気持ちと、武士の精神を重んじたいということから命名。今では鹿角の若者を中心に人気のラーメン店となっている。

この「ハンサム侍®」のブランドで加工品を作りたいと考えた館花さん。幼いころから食べていた鹿角ホルモンを新鮮な状態で加工し、そのおいさを届けたいという一心で、業者に粘り強く交渉。仕入れが可能となり、商品化する運びとなった。平成30年に取得した物件を加工場に改修、1年ほど試行錯誤を重ねて味の研究を進めた。

鹿角のソウルフードを全国へ広めたい

パンチのある味わいよりも少しマイルドな味を目指して開発された鹿角ホルモンは、令和5年に販売を開始した。商品名は「ハンサムホルモン」だ。

ある時、商標登録について活性化センターに相談。知財・デザイン支援課の支援のもと、「ハンサム侍®」の商標を令和5年12月に取得した。その後も、自身でデザインを行っていたパッケージデザインを一新することとなり、再び相談。「今年はトレードショーへ出展し、さらに今後は全国展開もしていきたいと考えているため、目を引くパッケージにしなければと思い相談しました」。

新しいデザインは豚のキャラクターが引き立つスタイリッシュなもので、その出来栄に満足していると話す館花さん。現在、加工品はハンサムホルモンのほか全部で7種類。商品は県内スーパーのほか、県外スーパーでも販売されており、オンラインストアでも展開中だ。今後も新たな商品開発を精力的に進めていきたいと意気込みを語ってくれた。



たてはな かずあき
館花 和明

ハンサム侍(工場)
〒018-5201
鹿角市花輪字下町88
TEL:0186-22-7370
<https://handsome-samurai.jp/>



HP

▶活用事例 デザイン支援

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言や、デザイナーとのマッチングを支援します。

[お問い合わせ]
知財・デザイン支援課
TEL. 018-860-5614



武士の精神を大切にしたいという館花さんの思いを形にし、若い世代にもリーチできるロゴデザインだ。



ジンギスカン鍋で食べるのが特徴の鹿角ホルモン。自宅ではホットプレートやフライパンで食べる家庭が多い。



工場内の加工風景。ホルモンのほか、牛、豚、鶏、鶏モツ、レバーなどの味付肉を商品化している。